（様式第９）

筑大病総調第 08 － 48 号
平成２０年１０月　１日

厚 生 労 働 大 臣　殿

筑 波 大 学 長
岩 崎 洋 [redacted]

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第１２条の３の規定に基づき、平成１９年度の業務に関して報告します。

記

1　高度の医療の提供の実績　→　別紙参照（様式第 10）

2　高度の医療技術の開発及び評価の実績　→　別紙参照（様式第 11）

3　高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	68　人

（注）　前年度の研修医の実数を記入すること。

4　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法　→　別紙参照（様式第 12）

5　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

6　他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績　→　別紙参照（様式第 13）

7　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職　種	常　勤	非常勤	合　計	職　種	員　数	職　種		員数
医　師	253 人	126.8 人	379.8 人	看護業務補助	40 人	診療エックス線技師		0 人
歯科医師	4 人	2 人	6 人	理学療法士	6 人	臨床検査	臨床検査技師	60 人
薬剤師	39 人	0 人	39 人	作業療法士	4 人		衛生検査技師	0 人
保健師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	1 人		その他	0 人
助産師	22 人	0 人	22 人	義肢装具士	0 人	あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧師		0 人
看護師	522 人	8.2 人	530.2 人	臨床工学技士	10 人	医療社会事業従事者		5 人
准看護師	0 人	0 人	0 人	栄養士	1 人	その他の技術員		9 人
歯科衛生士	1 人	0 人	1 人	歯科技工士	2 人	事務職員		109 人
管理栄養士	7 人	0 人	7 人	診療放射線技師	31 人	その他の職員		35 人

（注）1　報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3　「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下２位を切り捨て、小数点以下１位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8　入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯　科　等	合　　計
1日当たり平均入院患者数	671　人	13．2人	684．2人
1日当たり平均外来患者数	1341．2人	49．2人	1390．4人
1日当たり平均調剤数	1639．7剤		

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

（様式第１０）

高度の医療の提供の実績

1　先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	
胎児心超音波検査	有・無	
インプラント義歯	㊥・無	8
顎顔面補綴	㊥・無	0
顎関節症の補綴学的治療	有・無	
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物Ｐ糖蛋白の測定	有・無	
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	
CT ガイド下気管支鏡検査	有・無	
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのＤＮＡ診断	有・無	
ＳＤＩ法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	
HDRA 法又は CD-DST 法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	
子宮頸部前がん病変の HPV-DNA 診断	有・無	
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	
成長障害のＤＮＡ診断	有・無	
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	
ミトコンドリア病のＤＮＡ診断	有・無	
鏡視下肩峰下控徐圧術	有・無	
神経変性疾患のＤＮＡ診断	有・無	
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	
重粒子線治療	有・無	
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	
31 燐ー磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	
神経芽腫のＤＮＡ診断	有・無	
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	
重症 BCG 副反応症例における遺伝子診断	有・無	
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・無	
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	
エキシマレーザ冠動脈形成術	有・無	
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	
頚椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	
超音波骨折治療法	(有)・無	0
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	
X線CT画像診断装置に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	
膀胱水圧拡張術	有・無	
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	
歯周外科治療におけるバイオ・リジョネレーション法	有・無	
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援及びフルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	
骨移動術による関節温存型再建	有・無	
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法（腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍）	有・無	
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	(有)・無	1
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	
内視鏡下頚部良性腫瘍摘出術	有・無	
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	

先　進　医　療　の　種　類	届出受理	取扱い患者数
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるｾﾝﾁﾈﾙﾘﾝﾊﾟ節の同定と転移の検索	有・無	人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	(有)・無	0　人
筋過緊張に対する muscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	(有)・無	1　人
骨腫瘍の CT 透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	(有)・無	0　人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミン D（アナログ）直接注入療法	有・無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

先進医療で上の表に掲げられていないもの

実物大臓器立体モデルによる手術計画	有	２人
眼底３次元画像解析	有	９７人

2　特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾　患　名	取扱い患者数	疾　患　名	取扱い患者数
・ベーチェット病	６８人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	１０人
・多発性硬化症	５８人	・ウェゲナー肉芽腫症	８人
・重症筋無力症	７７人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	３８人
・全身性エリテマトーデス	３４３人	・多系統萎縮症	１４人
・スモン	０人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	２人
・再生不良性貧血	２９人	・膿疱性乾癬	６人
・サルコイドーシス	５８人	・広範脊柱管狭窄症	２人
・筋萎縮性側索硬化症	２５人	・原発性胆汁性肝硬変	１６人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	１６７人	・重症急性膵炎	３人
・特発性血小板減少性紫斑病	７２人	・特発性大腿骨頭壊死症	３７人
・結節性動脈周囲炎	３５人	・混合性結合組織病	３６人
・潰瘍性大腸炎	１１４人	・原発性免疫不全症候群	２人
・大動脈炎症候群	３４人	・特発性間質性肺炎	１２人
・ビュルガー病	１８人	・網膜色素変性症	１６人
・天疱瘡	２４人	・プリオン病	１人
・脊髄小脳変性症	３５人	・原発性肺高血圧症	１２人
・クローン病	５１人	・神経線維腫症	８人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	０人	・亜急性硬化性全脳炎	０人
・悪性関節リウマチ	１６人	・ﾊﾞｯﾄﾞ･ｷｱﾘ (Budd-Chiari)症候群	２人
・パーキンソン病関連疾患	８７人	・特発性慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）	５人
・アミロイドーシス	７人	・ﾗｲｿｿﾞｰﾑ病（ﾌｧﾌﾞﾘｰ［Fabry］病)含む	１人
・後縦靭帯骨化症	３２人	・副腎白質ジストロフィー	０人
・ハンチントン病	１人		１，５８２人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3　病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①.　臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ２.　臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週１回程度	
剖　検　の　状　況	剖検症例数　59 例	剖検率　17.9 %

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1　研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元又は委託元
生体内一酸化窒素測定ｶﾃｰﾃﾙの開発と不安定ﾌﾟﾗｰｸ診断への応用	渡辺重行	循環器（内）	135万円	㊟ 平成19年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費） 委
在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究	兵頭一之介	消化器（内）	100万円	㊟ 厚生労働省 委
難治性疾患克服研究事業「肝内結石症」調査研究班	正田純一	消化器（内）	30万円	㊟ 厚生労働省科学研究費補助金 委
成育医療研究委託費日常診療の指針「新生児乳児閉塞性黄疸の病因に関する分子的要因と治療法の検討」	正田純一	消化器（内）	30万円	補 ㊟ 成育医療研究委託費
NEDO「糖類関連分子・糖鎖構造を用いた胆道系悪性腫瘍のﾊﾞｲｵﾏｰｶｰの探索とそれらを応用した新規治療法の開発」	正田純一	消化器（内）	210万円	㊟ 経済産業省ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ組合 委
科学研究費基盤研究(B)「ｱｼﾞｱにおけるﾋﾄ胆道がんの発生・進展に関する遺伝子がん生物的・分子疫学的研究」平成18～19年度	正田純一（研究分担者）	消化器（内）	1135万円	㊟ 日本学術振興会 委
科学研究費萌芽研究「HER2導入ﾏｳｽによる胆道発癌、癌進展因子の探索と新規ｲﾑﾉﾄｷｼﾝ療法の開発」平成18～19年度	正田純一（研究分担者）	消化器（内）	320万円	㊟ 日本学術振興会 委

小計　7

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元又は委託元
科学研究費萌芽研究「漢方製剤生薬成分の胆汁うっ滞に対する胆汁分泌促進と肝細胞保護の新しい効果と分子機構」平成18～19年度	正田純一（研究分担者）	消化器（内）	320万円	㊟ 日本学術振興会 委
科学研究費萌芽研究「胆道系悪性腫瘍の個別化医療に向けたﾚｸﾁﾝﾏｲｸﾛｱﾚｲによる糖鎖分子ﾏｰｶｰの探索」平成18～20年度	正田純一（研究分担者）	消化器（内）	320万円	㊟ 日本学術振興会 委
科学研究費萌芽研究「肝内結石症からの胆道発癌ﾌﾟﾛｾｽと糖鎖分子ﾏｰｶｰ活用による肝内胆管癌の早期診断」平成19～20年度	正田純一（研究分担者）	消化器（内）	320万円	㊟ 日本学術振興会 委
科学研究費基盤研究(C)胆道系悪性腫瘍の術後肝転移・腹膜播種転移に対する標的分子の探索と分子的薬の選択」平成19～20年度	正田純一（研究分担者）	消化器（内）	435万円	㊟ 日本学術振興会 委
転写因子Nrf2による肝輸送蛋白の発現調節機構の解明と胆汁うっ滞に対する胆汁酸製剤による新しい分子標的治療	正田純一	消化器（内）	200万円	補 ㊥ 産学連携共同研究費 三菱ｳｪﾙﾌｧｰﾏ
蛍光偏光法を利用した癌診断技術の開発	松井宏史	消化器（内）	400万円	補 ㊥ ｵﾘﾝﾊﾟｽ
血小板を用いた新しい重症肝疾患に対する治療法の開発	大河内信弘	消化器（外）	190万円	㊟ 文部科学省 委
受容体を標的にしたﾘｶﾞﾝﾄﾞｰﾄｷｼﾝ産生細胞をﾏｲｸﾛｶﾌﾟｾﾙ化した新規抗癌治療	小田　竜也	消化器（外）	260万円	㊟ 文部科学省 委

小計　8

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元又は委託元
肝虚血再灌流障害における血小板、血管内皮相互作用の解明と障害予防法の新しい開発	近藤　匡	消化器（外）	160万円	㊟ 文部科学省 委
α-GalCerを用いたNKT細胞による新規抗癌治療法及び肝硬変治療法の開発	柳澤　和彦	消化器（外）	910万円	㊟ 文部科学省 委
凍結乾燥血小板を用いた肝再生促進治療の開発	大河内信弘	消化器（外）	270万円	㊟ 産学連携推進ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 委
肝不全に対する治療法の開発	大河内信弘	消化器（外）	60万円	㊟ TARAﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 委
肝腫瘍臨床試験研究	大河内信弘	消化器（外）	15万円	㊟ 放射線医学総合研究所 委
難治がんの総合的な対策に関する研究	小田　竜也	消化器（外）	100万円	㊟ 厚生労働省がん研究助成金 委
がん臨床医学分野（外科系）、生物系分野に関する学術動向の調査研究	小田　竜也	消化器（外）	100万円	補 ㊟ 日本学術振興会
喘息と慢性閉塞性肺疾患との共通病態の解明-分子病態に基づく新たな分類を目指して	檜澤　伸之	呼吸器（内）	273万円	㊟ 科学研究補助金基盤研究（c） 委
転写因子Nrf2を標的とした急性肺損傷および肺線維症に対する新たな治療法の開発	石井　幸雄	呼吸器（内）	208万円	㊟ 科学研究補助金基盤研究（c） 委
免疫ｱﾚﾙｷﾞｰ疾患予防治療研究事業	檜澤　伸之	呼吸器（内）	80万円	㊟ 厚生労働省 委
気管支喘息患者におけるβ2ｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ受容体遺伝子Arg16gly多型による長時間作用性β2刺激薬とﾛｲｺﾄﾘｴﾝ受容体拮抗薬の効果に関する検討	檜澤　伸之	呼吸器（内）	50万円	㊟ 筑波大学内ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 委

小計 11

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元又は委託元
ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ排気が喘息に及ぼす影響の試験法の開発	石井　幸雄	呼吸器（内）	315万円	㊟ 日本自動車研究所 委
喘息と慢性閉塞性肺疾患との共通病態の解明－分子病態に基づく新たな分類を目指して	檜澤　伸之	呼吸器（内）	273万円	㊟ 科学研究補助金基盤研究（c） 委
生理学的多変量データの取得と外科的処置が可能な胸腔内統合監視システムの構築	酒井光昭	呼吸器（外）	160万円	㊟ 科学研究費若手B 委
新規Maf群転写因子関連糖尿病性腎症モデルマウスの作製および解析	楊　景堯	腎泌尿器（内）	150万円	㊟ 科学研究費補助金（日本学術振興会） 委
胎児腎臓幹細胞分化の分子基盤解明とそのアッセイ法の開発	臼井　丈一	腎泌尿器（内）	170万円	㊟ 科学研究費補助金（日本学術振興会） 委
IgA腎症における糖鎖不全IgA1産生に対する黄色ブドウ球菌膜蛋白抗原の関与	清水　芳男	腎泌尿器（内）	150万円	㊟ 科学研究費補助金（日本学術振興会） 委
糸球体上皮細胞におけるミトコンドリア機能と蛋白濾出・糸球体硬化病変形成機序の検討	山縣　邦弘	腎泌尿器（内）	150万円	㊟ 科学研究費補助金（日本学術振興会） 委
非侵襲的レドックスイメージングによる高血圧性腎病変解析と酸化制御治療の開発	平山　暁	腎泌尿器（内）	130万円	㊟ 科学研究費補助金（日本学術振興会） 委
巣状糸球体硬化病変形成における糸球体上皮細胞脱落とミトコンドリア機能異常の研究	萩原　正大	腎泌尿器（内）	130万円	㊟ 科学研究費補助金（日本学術振興会） 委
抗原提示能に応じた選択的癌細胞療法の開発	赤座英之	腎泌尿器（外）	75万円	㊟ TARAﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 委
前立腺がんのﾘｽｸ評価と化学予防	赤座英之	腎泌尿器（外）	1620万円	㊟ 文部科学省 委

小計 11

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究（JCOG study）	赤座英之	腎泌尿器（外）	30万円	㊟ 厚生労働省 委
腎癌におけるｲﾝﾀｰﾌｪﾛﾝの感受性予測とﾍﾟﾌﾟﾁﾄﾞ導入増感療法の開発	島居　徹	腎泌尿器（外）	150万円	㊟ 日本学術振興会 委
腎細胞癌に対する免疫細胞療法と血管新生阻害薬の新規併用療法の開発にむけた基礎研究	及川剛宏	腎泌尿器（外）	70万円	㊟ 文部科学省 委
厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期予後改善のための前向き研究	山田　信博	内分泌代謝・糖尿病内科	5000万円	㊟ 厚生労働省 委
厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）原発性高脂血症に関する調査研究	山田　信博	内分泌代謝・糖尿病内科	2000万円	㊟ 厚生労働省 委
科学研費費補助金（基盤研究(B)）ﾒﾀﾎﾞﾘｯｸｼﾝﾄﾞﾛｰﾑにおけるｴﾈﾙｷﾞｰ代謝調節因子の探索とその機能解析	山田　信博	内分泌代謝・糖尿病内科	620万円	㊟ 文部科学省 委
科学研究費補助金（特別研究促進費）日本の臨床研究推進に関する調査研究	山田　信博	内分泌代謝・糖尿病内科	600万円	㊟ 文部科学省 委
基盤B　新規生活習慣病改善転写因子TEF3の多面的代謝作用機構の解析	島野　仁	内分泌代謝・糖尿病内科	870万円	㊟ 文部科学省 委
萌芽　SREBP2過剰発現ﾏｳｽによるｺﾚｽﾃﾛｰﾙ代謝とｲﾝｽﾘﾝ分泌の関連の検討	島野　仁	内分泌代謝・糖尿病内科	320万円	㊟ 文部科学省 委

小計　9

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元又は委託元
特定 CDK ｲﾝﾋﾋﾞﾀｰ P21 の脂肪細胞分化、肥大化における役割の検討	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	430 万円	㊟ 文部科学省 委
基盤C 骨格金における PPARσ 発現がｲﾝｽﾘﾝ抵抗性に及ぼす影響に関する検討	鈴木 浩明	内分泌代謝・糖尿病内科	150 万円	㊟ 文部科学省 委
若手B 糖尿病腎症における高血圧誘導性ｴﾈﾙｷﾞｰ代謝調節転写因子 SREBP-1 の役割	高橋 昭光	内分泌代謝・糖尿病内科	140 万円	㊟ 文部科学省 委
若手B 新規脂肪酸伸長酵素の生体内における機能ならびに病態への関与	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病内科	140 万円	㊟ 文部科学省 委
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発に関する研究	住田 孝之（主任）	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	2250 万円	㊟ 厚生労働省 委
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発に関する研究	松本 功	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	250 万円	㊟ 厚生労働省 委
関節ﾘｳﾏﾁの寛解導入療法体系化に関する研究	住田 孝之	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	200 万円	㊟ 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	伊藤 聡	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	150 万円	㊟ 厚生労働省 委
免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的新規治療法に関する研究	住田 孝之	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	200 万円	㊟ 厚生労働省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	後藤 大輔	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	60 万円	㊟ 厚生労働省 委
多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対するﾀｸﾛﾘﾑｽの治験	伊藤 聡	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	250 万円	㊟ 日本医師会治験促進ｾﾝﾀｰ 委
関節ﾘｳﾏﾁの早期診断による発症及び重症化予防	住田 孝之	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	180 万円	㊟ 厚生労働省 委

小計 12

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元又は委託元
ｼｪｰｸﾞﾚﾝ症候群発症の分子機構：M3Rに対する免疫応答解析	住田　孝之	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	220万円	補　文部科学省 委
ﾄﾘｽﾃﾄﾗﾌﾞﾛﾘﾝ分子機能、遺伝子発現、遺伝子多型と関節ﾘｳﾏﾁの病態の関連	堤　明人	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	160万円	補　文部科学省 委
自己免疫誘導性関節炎の制御機構と治療	松本　功	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	130万円	補　文部科学省 委
ｼｪｰｸﾞﾚﾝ症候群発症における分子機構の解明	若松　英	膠原病ﾘｳﾏﾁｱﾚﾙｷﾞｰ内科	90万円	補　文部科学省 委
新規ﾊﾞｲｵ造血幹細胞移植後急性GVHD早期診断ｼｽﾃﾑの開発	小島　寛	血液内科	200万円	補　桐仁会 委
悪性黒色腫に対する新しい診療体系の確立に関する研究「DNAﾒﾁﾙ化異常に着目した診断治療法の開発」	大塚藤男	皮膚	90万円	補　厚生労働省「がん研究助成金」 委
神経皮膚症候群に関する調査研究「神経線維腫症1型の神経線維腫形成機序の研究と治療法開発・改良」	大塚藤男	皮膚	95万円	補　厚生労働省「厚生労働科学研究補助金」 委
神経芽腫臨床試験を基盤とした基礎医学的研究およびﾄﾗﾝｽﾚｰｼｮﾅﾙﾘｻｰﾁ	金子道夫	小児（外）	1690万円	補　科学研究費補助金（基盤研究（A）） 委
間質細胞を標的とした難治性小児悪性固形腫瘍の耐性克服の研究	金子道夫	小児（外）	200万円	補　科学研究費補助金（萌芽研究） 委
神経芽腫におけるﾘｽｸ分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究	金子道夫	小児（外）	560万円	補　厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業 委

小計　10

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
小児に対するｵｰﾀﾞｰﾒｲﾄﾞ型再生医療のための幹細胞基盤技術の開発と胎盤の利用	小室広昭	小児（外）	170万円	㊟ 科学研究費補助金（基盤研究（B）） 委
乳酸系生体吸収性材料を基盤に用いたｺﾝﾌﾟｼﾞｯﾄｸﾞﾗﾌﾄによる気管再建の研究	楯川幸弘	小児（外）	130万円	㊟ 科学研究費補助金（萌芽研究） 委
PLGA-collagen hybrid mesh を用いた横隔膜の再生	瓜田泰久	小児（外）	140万円	㊟ 科学研究費補助金（若手研究（B）） 委
鎖肛ﾌﾞﾀﾓﾃﾞﾙにおける多因子遺伝研究－GLI2 の網羅的遺伝子座相互作用解析	工藤寿美	小児（外）	300万円	㊟ 科学研究費補助金（基盤研究（C）） 委
ｱﾎﾟﾘﾎﾟ蛋白E遺伝子改変ﾏｳｽ脳における酸化ｽﾄﾚｽとｱﾐﾛｲﾄﾞβ蛋白	玉岡　晃	脳神経（内）	130万円	㊟ 文部科学省科学研究費補助金詭弁研究（C）（2） 委
酸化ｽﾄﾚｽによ BACE1 発現変化とｱﾐﾛｲﾄﾞβ蛋白との相関に関する解析	玉岡　晃	脳神経（内）	240万円	㊟ 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究 委
ｱﾐﾛｲﾄﾞｰｼｽに関する調査研究	玉岡　晃	脳神経（内）	90万円	㊟ 厚生労働省科学研究費補助金 委
酸化ｽﾄﾚｽによる BACE1 発現変化とｱﾐﾛｲﾄﾞβ蛋白との相関に関する解析	玉岡　晃	脳神経（内）	100万円	補 ㊥ 三共生命科学研究振興財団
孤発性筋萎縮性側索硬化症における RNA 編集新規基質の探索とﾊﾞｲｵﾏｰｶｰの開発	詫間　浩	脳神経（内）	150万円	㊟ 文部科学省 委

小計　9

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
平成19年度ｼﾞﾌｪﾆﾙｱﾙｼﾝ酸等の健康影響に関する調査研究（臨床研究班） 若年層における脳血流ｼﾝﾁｸﾞﾗﾌ （123I-IMP-SPECT）の正常対照群ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ作成	石井　一弘	脳神経（内）	900万円	補 委　環境省
平成19年度ｼﾞﾌｪﾆﾙｱﾙｼﾝ酸等の健康影響に関する調査研究（臨床研究班） DPAA等有機ヒ素化合物曝露者における脳ﾎﾟｼﾞﾄﾛﾝCT（PET）の解析	石井　一弘	脳神経（内）	250万円	補 委　環境省
平成19年度ｼﾞﾌｪﾆﾙｱﾙｼﾝ酸等の健康影響に関する調査研究（臨床研究班） ｼﾞﾌｪﾆﾙｱﾙｼﾝ酸による脳幹小脳機能の神経生理学的解析法の確立	玉岡　晃	脳神経（内）	250万円	補 委　環境省
平成19年度ｼﾞﾌｪﾆﾙｱﾙｼﾝ酸等の健康影響に関する調査研究（毒性班） ﾏﾆｸｲｻﾞﾙにおけるｼﾞﾌｪﾆﾙｱﾙｼﾝ酸の中枢神経影響	玉岡　晃	脳神経（内）	1200万円	補 委　環境省
ｱﾙﾂﾊｲﾏｰ病脳における新規Aβ分子種の解析	冨所康志	脳神経（内）	20万円	補　筑波大学 委
分光測色計を用いたｹﾛｲﾄﾞ・肥厚性瘢痕の評価に関する研究	畑寿　太郎	形成外科	100万円	補 委　ｷｯｾｲ薬品
NEDO研究助成 次世代DDS型悪性腫瘍治療ｼｽﾃﾑ開発事業：中性子捕捉療法	松村　明	脳神経（外）	9675万円	補　経済産業省 NEDO 委
選択的ｱﾙﾌｧ線照射による脳血管形成術後の再狭窄予防に関する基礎的研究	松村　明	脳神経（外）	320万円	補　文部科学省 委

小計　8

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
熱外中性子を用いた悪性脳腫瘍に対する細胞選択的次世代粒子線治療の研究	松村　明	脳神経（外）	1581万円	㊟ 文部科学省 委
悪性腫瘍に対する血管内皮前駆細胞を用いた血管新生抑制療法	高野晋吾	脳神経（外）	130万円	㊟ 文部科学省 委
抗原提示能に応じた選択的癌細胞療法の開発	高野晋吾(分担研究者)	脳神経（外）	50万円	㊟ 筑波大学 TARA ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 委
ﾋﾄ脳腫瘍由来血管内皮細胞を用いた悪性脳腫瘍の遺伝子細胞治療	高野晋吾	脳神経（外）	50万円	㊟ CREIL ｾﾝﾀｰ 委
脳悪性ﾘﾝﾊﾟ腫の新規分子標的免疫療法―自己血清とﾘﾂｷｼﾏﾌﾞの脳室内投与	高野晋吾 (分担研究者)	脳神経（外）	70万円	㊟ CREIL ｾﾝﾀｰ 委
神経内視鏡による深部脳腫瘍の生物学的特性診断と vascular targeting 療法の確立	高野晋吾	脳神経（外）	50万円	㊟ 内視鏡医学研究振興財団 委
陽子線照射と免疫補助療法を併用する新たな肝癌治療法の開発	坪井康次	脳神経（外）	2400万円	㊟ 茨城研究開発事業 委
JCOG 脳腫瘍	松村明 高野晋吾(分担研究者)	脳神経（外）	20万円	㊟ 厚生科研費 委
子宮頸癌撲滅のための HPV 型共通予防ﾜｸﾁﾝの開発と治療ﾜｸﾁﾝの基礎的研究	吉川　裕之	婦人・周産期	530万円	㊟ 文部科学省 委
進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	吉川　裕之	婦人・周産期	2968万円	㊟ 厚生労働省 委
臨床及び非臨床のﾃﾞｰﾀに基づく医薬品の催奇形性のﾘｽｸ分類に関する研究	吉川　裕之	婦人・周産期	1542万円	㊟ 厚生労働省 委
婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療法の開発に関する研究	吉川　裕之	婦人・周産期	120万円	㊟ 厚生労働省 委

小計 12

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元又は委託元
婦人科腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	吉川　裕之	婦人・周産期	120万円	㊟ 厚生労働省 委
進行・再発子宮頸がんに対する標準的治療体系の確立に関する研究	吉川　裕之	婦人・周産期	100万円	㊟ 厚生労働省 委
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	吉川　裕之	婦人・周産期	120万円	㊟ 厚生労働省 委
子宮頸部発がんの危険因子としての喫煙に関する研究	吉川　裕之	婦人・周産期	200万円	㊟ 喫煙科学研究財団 委
外科系臨床学分野に関する学術動向の調査・研究	吉川　裕之	婦人・周産期	350万円	㊟ 日本学術振興会 委
放射線治療に資するがん制御遺伝子解析研究	吉川　裕之	婦人・周産期	105万円	㊟ 一般受諾研究 委
子宮頸部に neoplastic な病変がない HPV 感染者の自然史の解明	佐藤豊実	婦人・周産期	70万円	㊟ 日本学術振興会 委
抗癌剤に高感受性の卵巣癌由来細胞株の樹立(WGD3111954)	沖　明典	婦人・周産期	150万円	㊟ 文部科学省 委
ﾋﾄﾊﾟﾋﾟﾛｰﾏｳｲﾙｽの感染制御に関与する免疫応答の解明	松本光司	婦人・周産期	130万円	㊟ 日本学術振興会 委
周産期感染症における S. saprophyticus の病原性の解析	小畠真奈	婦人・周産期	130万円	㊟ 文部科学省 委
蝸牛音響性障害の成因の解明と治療に関する研究	田渕　経司	耳鼻咽喉科	110万円	㊟ 文部科学省 委
内耳性難聴の機序の解明とｽﾃﾛｲﾄﾞﾎﾙﾓﾝの作用機序の基礎的研究	飛田　忠道	耳鼻咽喉科	260万円	㊟ 文部科学省 委
酸化ｽﾄﾚｽｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅﾙﾉｯｸｱｳﾄﾏｳｽを用いた口腔病変の解析	吉田　廣	歯・口腔外科	585万円	㊟ 文部科学省 委

小計 13

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元又は委託元
造血幹細胞移植患者における包括的な口腔管理に関する臨床的研究	山縣　憲司	歯・口腔外科	170万円	㊟ 文部科学省 委
陽子線照射と免疫補助療法を併用する新たな肝癌治療法の開発	坪井　康次	放射線腫瘍科	328.55万円	補 委 いばらき研究開発推進事業
末梢神経領域における拡散テンソル MRI 及びトラクトグラフィーの基礎的検討	國松　聡	放射線診断・IVR	130万円	㊟ 文部科学省 委
肺がん病理学的研究	野口　雅之	病理学的診断	1210万円	㊟ 厚生労働省がん研究助成金 委
ヒト肺腺がんの発がん初期に異常メチル化を示す発がん関連遺伝子の探索	野口　雅之	病理学的診断	90万円	㊟ 科学研究費補助金（基盤研究(C)一般） 委
肺腺がんおよびその背景病変の病理とがん発生要因の関係についての解析	森下由紀雄	病理学的診断	170万円	㊟ 厚生労働省がん研究助成金 委
ヒト肺腺癌の発癌初期に係わる発現遺伝子の網羅的解析	穴見　洋一	病理学的診断	130万円	㊟ 科学研究費補助金（基盤研究(C)一般） 委

小計　7

計　117

（注）1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2　論文発表等の実績

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Am J Physiol Heart Circ Physiol 293:H474-H481, 2007	Contributory role of VEGF overexpression in endothelin-1-induced cardiomyocyte hypertrophy	Shimojo N, Aonuma k, Miyauchi T	循環器（内）
J Pharmacol Sci 103:207-213, 2007	In vivo electropharmacological effects of amiodarone and candesartan on atria of chronic atrioventricular block dogs	Wang K, Aonuma k	循環器（内）
Br J Cancer 96(2):290-295, 2007	Tissue factor expression as a possible determinant of thromboembolism in ovarian cancer	Uno K, Homma S, Aonuma k	循環器（内）
Circ J 71:138-143, 2007	Granulocyte colony-stimulating factor prevents progression of monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension in rats	Maruyama H, Watanabe S, Aonuma k	循環器（内）
Am J Hypertens 20:967-973, 2007	Relationship between arterial stiffness and athletic training programs in young adult men	Otsuki T, Ajisaka R, Miyauchi T,	循環器（内）
Am J Physiol Heart Circ Physiol 292:H786-H791, 2007	Vascular endothelium-derived factors and arterial stiffness in strength-and endurance-trained men	Otsuki T, Maeda S Miyauchi T	循環器（内）
Am J Physiol Endocrinol Metab 292:577-584, 2007	Expression of steroidogenic enzymes and synthesis of sex steroid hormones from DHEA in skeletal muscle of rats	Aizawa K, Miyauchi T Mwsaki N,	循環器（内）
Am J Physiol Endocrino Metab 292:1030-1040, 2007	Endothelin antagonism normalizes VEGF signaling and cardiac function in STZ-induced diabetic rat hearts	Jesmin S, Shimojyo N, Miyauchi T	循環器（内）
Med Sic Sports Exerc 39:365-370, 2007	Postexercise heart rate recovery accelerates in strength-trained athletes	Otsuki T, Saito Y, Miyauchi T	循環器（内）
Am J Hypertens 20:650-656, 2007	Sex differences in the relationship between estrogen receptor alpha gene polymorphisms and arterial atiffness in older humans	Hyashi K, Iemitsu M, Miyauchi T	循環器（内）
Am J Physiol Heart Circ Physiol 293:H1466-H1472, 2007	Systematic (alpha)-adrenergic and nitric oxide inhibition on basal limid blood flow: effects of endurance training in middle-aged and older adults	Sugawara J Miyauchi T Maeda S	循環器（内）
Hypertens Res 30(5):411-415, 2007	Effect of systemic nitric oxide synthase inhibition on arterial stiffness in humans	Sugawara J Miyauchi T, Tanaka H,	循環器（内）

小計　12 件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Br J Cancer 97:1053-1057,2007	High incidence of silent venous thromboembolism before treatment of ovarian cancer	Satoh T, Uno K, Honma S,	循環器（内）
J Clin Pharm Ther 32(4):409-411, 2007	Impact of serum flecainide level on control of atrial fibrillation in a case treated with cardiac resynchronization therapy	Doki K, Kuga K, Kawano S,	循環器（内）
臨床心臓電気生理 1:145-156,2007	逆伝導のみを有する副房室結節ﾘｴﾝﾄﾘｰによる心房頻拍の１例	吉田健太郎，久賀圭祐，青沼和隆	循環器（内）
Circulation J 71(3):294-300, 2007	Dose-response effect of flecainide in patinets with symptomatic paroxysmal atrial fibrillation and/or flutter monitored with trans-telephonic electrocardiography - a multicenter, placebo, controlled	Atarashi H Ogawa S Kuga K	循環器（内）
European Journal of Clinical Pharmacology 63:951-957,2007	Gender-associated differences in pharmacokinetics and anti-arrhythmic effects of flecainide in Japanese patients with supraventricular tachyarrhythmia	Doki K, Kuga K Sakai S,	循環器（内）
Euro Heart J 28:2610-2619, 2007	Effect of Triangle Ventricular Pacing on Haemodynamics and Dyssynchrony in Patients with Advanced Heart Failure, a Comparison Study with Conventional Bi-Ventricular Pacing Therapy	Yoshida K, Seo Y, Ishizu T	循環器（内）
循環器科 61（5）: 436-441,2007	非薬物療法の最近の話題：ｱﾌﾞﾚｰｼｮﾝ-最近の進歩	関口幸夫，青沼和隆	循環器（内）
Heart View 11(6) : 568-576,2007	心不全における非同期性心室収縮	瀬尾由広，青沼和隆	循環器（内）
心臓 39SUPPL.5 : 35-44,2007	基礎心疾患を有する難治性致死性心室性不整脈に対するｶﾃｰﾃﾙｱﾌﾞﾚｰｼｮﾝ治療	青沼和隆	循環器（内）
Cardiac Practice19:189-194,2007	器質心疾患を有する致死性心室性不整脈に対するｶﾃｰﾃﾙｱﾌﾞﾚｰｼｮﾝ治療	青沼和隆	循環器（内）
J Gastroenterol.	Cellular membrane fluidity measurement by fluorescence Polarization in indomethacin-induced gastric celluar injury in vitro.	Kaneko T, Matsui H, Shimokawa O, Nakahara A, Hyodo I.	消化器（内）

小計　11件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol Hepatol.	Peroxiredoxin 1 protects gastric mucosa from oxidative injury by H.pylori infection.	Sato D, Yanaka A, Shibahara T, Matsui H, Nakahara A, Yanagawa T, Warabi E, Ishii T, Hyodo I.	消化器（内）
Ann Oncol.	Psychological and behavioral mechanisms influencing the use of complementary and alternative medicine (CAN) in cancer patients.	Hyodo I.	消化器（内）
Digestion.	Geranylgeranylacetone protects the human gastric mucosa from diclofenac-induced injury via induction of heat shock protein70.	Yanaka A, Zhang S, Sato D, Tauchi M, Suzuki H, Shibahara T, Matsui H, Nakahara A, Hyodo I.	消化器（内）
Jpn J Clin Oncol.	Phase Ⅱ study of oxaliplatin in japanese patients with metastatic colorectal cancer refractory to fluoropyrimidines.	Hyodo I.	消化器（内）
Jpn J Clin Oncol.	Significance of biological markers for predicting prognosis and selecting chemotherapy regimens of advanced gastric cancer patients between continuous infusion of 5-FU and a combination of 5-FU and cisplatin.	Hyodo I.	消化器（内）
Clin Cancer Res.	E1A, E1B double-restricted adenovirius with RGD-fiber modification exhibits enhanced oncolysis for CAR-deficient biliary cancers.	Wakayama M, Abei M, Kawashima R, Seo E, Fukuda K, Ugai H, Murata T, Tanaka N, Hyodo I.	消化器（内）
Biochem Biophys Res Commun	Development of an all-in-one technology for glycan profiling targeting formalin-embedded tissues sections.	Shoda J.	消化器（内）
Eur J Cancer.	MUC4 Interacts with ErbB2 in Human Gallbladder Carcinoma Potential Pathobiological Implications.	Shoda J.	消化器（内）

小計　8件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for patients of Advanced Ages(＞80 years) with Hepatocellular carcinoma	Shoda J.	消化器（内）
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma Adjacent to the porta hepatis.	Shoda J.	消化器（内）
日本外科学会雑誌	癌の外科治療におけるｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞｺﾝｾﾝﾄ7.膵臓癌	佐々木亮孝、小田竜也、橋本真治、福永潔、近藤匡、寺島秀夫、山本雅由、稲川智、柳澤和彦、大河内信弘	消化器（外）
臨床外科	臓器移植	福永潔、大河内信弘	消化器（外）
侵襲と免疫	重症患者に対する栄養投与経路の再考	寺島秀夫、福沢淳也、只野惣介、大河内信弘	消化器（外）
World Journal of Surgery	Early Enteral Administration of Non-nutritive Solution Accelerates the Anastomotic Healing in the Proximal Jejnum in the Rat	Fukuzawa J., Terahima H., Ohkohchi N.	消化器（外）
消化器科	消化管吻合術後の絶飲食療法は必要か－早期経口栄養摂取のｴﾋﾞﾃﾞﾝｽと有用性	寺島秀夫、福沢淳也、只野惣介、稲川智、大河内信弘	消化器（外）
静脈経腸栄養	Intensive insulin therapy 2.Intensive insulin therapy ＩＩＴ”の臨床成績－ＩＩＴを巡る最近の論争	寺島秀夫、只野惣介、大河内信弘	消化器（外）
外科	特集：膵頭十二指腸切除術（PD）をめぐる諸問題　Ⅳ.膵空腸吻合 2.正常膵に対する膵空腸吻合法 update	佐々木亮孝、小田竜也、近藤匡、福永潔、寺島秀夫、山本雅由、稲川智、柳澤和彦、及川明奈、若林剛、大河内信弘	消化器（外）

小計　9件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
World Journal of Surgery	Significance of Ductal Margin Status in Patients Undergoing Surgical Resection for Extrahepatic Cholamgiocarcinoma	Sasaki R., Takeda Y., Funato O., Nitta H., Kawamura H., Uesugi N., Sugai N., Wakabayashi G., Ohkohchi N.	消化器（外）
ﾍﾙｽｹｱ・ﾚｽﾄﾗﾝ	～管理栄養士の病棟での責任を問い直す～ 「栄養ｱｾｽﾒﾝﾄ」の目的は果たされているのか	寺島秀夫	消化器（外）
日本外科学会雑誌	癌の外科治療におけるｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞｺﾝｾﾝﾄ1.特集によせて	大河内信弘	消化器（外）
Am. J. Respir. Crit. Care Med. 2007 176: 1015-1025	Overexpression of GATA-3 Protects against the Development of Hypersensitivity Pneumonitis	Matsuno Y,, Ishii Y,	呼吸器（内）
Clin.Lung Cancer 2007 8, 327-330.	Prognostic value of tumor disappearance rate on CT in advanced lung adenocarcinoma	Haraguchi N, Satoh H,	呼吸器（内）
Intern. Med. 2007 46,491-494	A case report of a patient with pulmonary lymphangitic carcinomatosis successfully treated with TS-1 and cisplatin	Kikuchi N, Ishii Y,	呼吸器（内）
Respir. Med. Extra 2007 3,83-85.	Lung cancer with spontaneous regression of scalp metastasis.	Miyazaki K, Satoh H,	呼吸器（内）
Chr. Respir. Dis 2007 4: 75-76	Kartagener's syndrome in a woman who would reach advanced age	Ohara G, Satoh H,	呼吸器（内）
Arch. Oncol. 2007 15: 38.	Late Pulmonary Metastasis of Submandibular Adenoid Cystic Carcinoma	Ohara G, Satoh H,	呼吸器（内）
Respir. Med. Extra 2007 3: 117-119	Chemotherapy for small cell lung cancer in a patient with idiopathic thrombocytopenic	Ogawa R, Satoh H,	呼吸器（内）

小計　10 件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Respir. Med. Extra 2007 3, 36-38.	purpura Lung metastasis in a patient with lymphangioleiomatosis.	Masuko H, Satoh H,	呼吸器（内）
J. Tuberculosis and Thorax 2007 55, 127-134	Co-morbid illness in patients with respiratory disease.	Kanemoto K, Satoh H,	呼吸器（内）
Intern Med. 46(20): 2007 1749-1751.	Malignant meningitis secondary to lung adenocarcinoma: an unusual relapse	Ano S, Satoh H,	呼吸器（内）
Respir. Med 2007 101: 2425-2427.	A long-term survivor with pulmonary large-cell neuroendocrine carcinoma	Ohara H, Satoh H,	呼吸器（内）
日本呼吸器外科学会雑誌	肺葉切除・区域切除に対する周術期予防的抗菌薬投与の検討 —術前術中投与法と術後投与法の比較—	酒井光昭	呼吸器（外）
Microvasc Res	In vivo observation of pulmonary micrometastasis of colon cancer in normal rats	K. Iguchi	呼吸器（外）
J Thorac Cardiovasc Surg	A pseudoaneurysmal cyst in the pulmonary artery secondary to lung suppuration	H. Ichimura	呼吸器（外）
Eur J Cardiothorac Surg	Preoperative CYFRA 21-1 levels as a prognostic factor in c-stage I non-small cell lung cancer	H. Suzuki	呼吸器（外）
Journal of Immunology, Vol. 178, 605-612, 2007	Th1 and Type 1 cytotoxic T cells dominate responses in T-bet overexpression transgenic mice that develop contact dermatitis	K.Ishizaki, K. Yoh, 他	腎泌尿器（内）
Contributions to Nephrology, Vol 157, 139-143, 2007	Patients with IgA Nephropathy Respond Strongly Through Production of IgA with Low Avidity Against Staphylococcus aureus.	Y. Shimizu, M. Hagiwara, K. Yoh, K. Yamagata, 他	腎泌尿器（内）
American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine, 2007	Overexpression of GATA-3 protects against the development of hypersensitivity pneumonaitis.	Y. Matsuno, Y. Ishii, K. Yoh, 他	腎泌尿器（内）
Journal of Surgical Pathology, Vol. 31, 1695-1702, 2007	c-Maf expression in angioimmunoblastice T-cell lymphoma	Y.I. Murakami, Y. N. Morito, K. Yoh, 他	腎泌尿器（内）

小計 12 件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun 2007; 364: 502-508	Involvement of glomerular SREBP-1c in diabetic nephropathy.	Ishigaki N, Yamamoto T, Shimizu Y, Kobayashi K, Yatoh S, Sone H, Takahashi A, Suzuki H, Yamagata K, Yamada, Shimano H.	腎泌尿器（内）
Contrib Nephrol. 2007; 157: 139-43.	Patients with IgA nephropathy respond strongly through production of IgA with low avidity against Staphylococcus aureus.	Shimizu Y, Seki M, Kaneko S, Hagiwara M, Yoh K, Yamagata K, Koyama A.	腎泌尿器（内）
炎症と免疫 15(1):128-133	ANCA 関連血管炎	山縣邦弘	腎泌尿器（内）
Kidney Int. 71, 159-166.	Risk factors for chronic kidney disease in a community-based population: a 10-year follow-up study.	Yamagata K, Ishida K, Sairenchi T, Takahashi H, Ohba S, Shiigai T, Narita M, Koyama A.	腎泌尿器（内）

小計　4 件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
日本透析医学会雑誌４０（１）：1-30	わが国の慢性透析療法の現況（2005年12月31日現在）	中井滋，政金生人，秋葉隆，井関邦敏，渡邊有三，伊丹儀友，木全直樹，重松隆，篠田俊雄，勝二達也，庄司哲雄，鈴木一之，土田健司，中元秀友，濱野高行，丸林誠二，守田治，両角國男，山縣邦弘，山下明泰，若井建志，和田篤志，椿原美治	腎泌尿器（内）

小計　1件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Nephrol. 11(1):41-50.	Estimation of glomerular filtration rate by the MDRD study equation modified for Japanese patients with chronic kidney disease.	Imai E, Horio M, Nitta K, Yamagata K, Iseki K, Hara S, Ura N, Kiyohara Y, Hirakata H, Watanabe T, Moriyama T, Ando Y, Inaguma D, Narita I, Iso H, Wakai K, Yasuda Y, Tsukamoto Y, Ito S, Makino H, Hishida A, Matsuo S.	腎泌尿器（内）
日本腎臓学会誌 49(2):82-7	ミトコンドリア異常からみた糸球体係蹄上皮細胞障害の基礎	山縣邦弘、 萩原正大	腎泌尿器（内）
内科 99（6）、1262-1267	診断ピットフォール症例から学ぶ　㈹腎臓　多尿、頻尿	斉藤知栄、 山縣邦弘	腎泌尿器（内）
Kidney Int 71(10):1076	Response to 'Risk factors affecting the incidence of chronic kidney disease'	Yamagata K	腎泌尿器（内）
リウマチ科 38（1）：78-85	ANCA 関連血管炎における腎障害	山縣邦弘	腎泌尿器（内）
医学のあゆみ 222（10）;779-783	CKD と検尿	山縣邦弘	腎泌尿器（内）
Cancer Sci 98:529-534, 2007	Prediction of in vitro response to interferon-α in renal cell carcinoma cell lines	Shimazui T, Ami Y, Akaza H	腎泌尿器外科

小計　7件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Prostate Cancer Prostatic Dis (Published online 2 January 2007) 10:194-201, 2007	Bicalutamide 80mg combined with a luteinizing hormone-releasing hormone agonist (LHRH-A) versus LHRH-A monotherapy in advanced prostate cancer: findings from a phase III randomized, double-blind, multicenter trial in Japanese patients	Usami M, Akaza H, Ohashi Y	腎泌尿器外科
Asian Pacific J Cancer Prev 8:3-12, 2007	<Meeting Report> The 5th Conference on Asian Trends in Prostate Cancer Hormone Therapy	Akaza H, Moore MA, Hinotsu S	腎泌尿器外科
Cancer Res 67:5117-5125, 2007	Molecular Features of Hormone-Refractory Prostate Cancer Cells by Genome-Wide Gene Expression Profiles	Tamura K, Akaza H, Nakagawa H	腎泌尿器外科
Int J Clin Oncol 12:250-255, 2007	The impact of real-time tissue elasticity imaging (elastography) on the detection of prostate cancer: clinicopathological analysis	Tsutsumi M, Miyanaga N, Akaza H	腎泌尿器外科
J Nutr 137:1974-1979, 2007	Dietary isoflavones may protect against prostate cancer in Japanese men	Nagata Y, Miyanaga N, Akaza H	腎泌尿器外科
Jpn J Clin Oncol 37:603-608, 2007	Three-weekly Docetaxel with Prednisone is Feasible for Japanese Patients with Hormone-refractory Prostate Cancer: A Retrospective Comparative Study with Weekly Docetaxel Alone	Shimazui T, Joraku A, Akaza H	腎泌尿器外科
Carcinogenesis 28:2398-2403, 2007	Nrf2 and p53 cooperatively protect against BBN-induced urinary bladder carcinogenesis	Iida K, Akaza H, Yamamoto M.	腎泌尿器外科
Jpn J Clin Oncol 37:755-762, 2007	Phase II study to investigate the efficacy, safety, and pharmacokinetics of Sorafenib in Japanese patients with advanced renal cell carcinoma	Akaza H, Nakajima K, Naito S	腎泌尿器外科
Jpn J Clin Oncol 37:775-781, 2007	Current status of endocrine therapy for prostate cancer in Japan-Analysis of primary androgen deprivation therapy on the basis of data colloected by J-CaP	Hinotsu S, Akaza H, The Japan Study Group of Prostate Cancer (J-CaP)	腎泌尿器外科
Jpn J Clin Oncol 37:852-857, 2007	Background Variables for the Patients with Invasive Bladder Cancer Suitable for Bladder-preserving Therapy	Miyanaga N, Akaza H, Shimazui T	腎泌尿器外科
BJU Int 101:561-565, 2008	Urinary cytology and nuclear matrix protein 22 in the detection of bladder cancer recurrence other than transitional cell carcinoma	Hutterer GC, Akaza H, Shariat SF	腎泌尿器外科

小計 11 件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Int J Urol 15:1-18, 2008	<Guidelines> Evidence-based Clinical Practice Guidelines for Prostate Cancer (Summary - JUA 2006 Edition)	Kamidono S, Akaza H, Working Group for Creation of Clinical Practice Guidelines for Prostate Cancer, The Japanese Urological Association.	腎泌尿器外科
Jpn J Clin Oncol 38:281-287, 2008	Survival of metastatic germ cell cancer patients assessed by international germ cell consensus classification in Japan	Shintaku I, Akaza H, Arai Y	腎泌尿器外科
日本がん検診・診断学会誌 15:153-157, 2008	茨城県前立腺がん２次検診の現状と動向－検診担当医へのアンケート調査より－	服部一紀，樋之津史郎，赤座英之	腎泌尿器外科
Jpn J Cancer Chemother 34:589-595, 2007	進行前立腺癌に対するMAB療法の費用対効果分析	西村周三，内藤誠二，赤座英之	腎泌尿器外科
腎泌予防医誌 16:128-130, 2008	環境・宿主要因による前立腺癌発生の疫学的研究：健常人を対象としたイソフラボン錠投与における体内薬物動態の臨床研究	田中雅博，平尾佳彦，赤座英之	腎泌尿器外科
J Clin Biochem Nutr. 2007 ;40(2): 123-30.	Abdominal Irradiation Ameliorates Obesity in ob/ob Mice.	Okada S, Kobayashi K, Ishikawa M, Inoue N, Yamada N, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科
Biochem Biophys Res Commun. 2007; 364(3):502-8.	Involvement of glomerular SREBP-1c in diabetic nephropathy.	Ishigaki N, Yamamoto T, Shimizu Y, Kobayashi K, Yatoh S, Sone H, Takahashi A, Suzuki H, Yamagata K, Yamada N, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科
Diabetes Obes Metab. 2007;9 Suppl 2:133-9.	Sterol regulatory element-binding protein-1c and pancreatic beta-cell dysfunction.	Shimano H, Amemiya-Kudo M, Takahashi A, Kato T, Ishikawa M, Yamada N.	内分泌代謝・糖尿病内科

小計　8件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Nat Med. 2007; 13(10):1193-202.	Crucial role of a long-chain fatty acid elongase, Elovl6, in obesity-induced insulin resistance.	Matsuzaka T, Shimano H, Yahagi N, Kato T, Atsumi A, Yamamoto T, Inoue N, Ishikawa M, Okada S, Ishigaki N, Iwasaki H, Iwasaki Y, Karasawa T, Kumadaki S, Matsui T, Sekiya M, Ohashi K, Hasty AH, Nakagawa Y, Takahashi A, Suzuki H, Yatoh S, Sone H, Toyoshima H, Osuga J, Yamada N.	内分泌代謝・糖尿病内科
Biochem Biophys Res Commun. 2007; 363(2):329-35.	In vivo promoter analysis on refeeding response of hepatic sterol regulatory element-binding protein-1c expression.	Takeuchi Y, Yahagi N, Nakagawa Y, Matsuzaka T, Shimizu R, Sekiya M, Iizuka Y, Ohashi K, Gotoda T, Yamamoto M, Nagai R, Kadowaki T, Yamada N, Osuga J, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科

小計　2件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Am J Psychiatry. 2007;164(9):1440.	Isolated adrenocorticotropic hormone deficiency presenting with delirium.	Nemoto K, Kawanishi Y, Suzuki H, Mizukami K, Asada T.	内分泌代謝・糖尿病内科
J Atheroscler Thromb. 2007; 14(4):179-84.	Identification of ISG12b as a putative interferon-inducible adipocytokine which is highly expressed in white adipose tissue.	Ohgaki S, Iida K, Yokoo T, Watanabe K, Kihara R, Suzuki H, Shimano H, Toyoshima H, Yamada N.	内分泌代謝・糖尿病内科
FEBS J. 2007; 274(17):4440-52.	A transcription factor of lipid synthesis, sterol regulatory element-binding protein (SREBP)-1a causes G(1) cell-cycle arrest after accumulation of cyclin-dependent kinase (cdk) inhibitors.	Nakakuki M, Shimano H, Inoue N, Tamura M, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Yahagi N, Toyoshima H, Sato R, Yamada N.	内分泌代謝・糖尿病内科
Intern Med. 2007; 46(14):1071-7.	Even low-intensity and low-volume exercise training may improve insulin resistance in the elderly.	Kodama S, Shu M, Saito K, Murakami H, Tanaka K, Kuno S, Ajisaka R, Sone Y, Onitake F, Takahashi A, Shimano H, Kondo K, Yamada N, Sone H.	内分泌代謝・糖尿病内科

小計　4件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Arch Intern Med. 2007 28;167(10): 999-1008.	Effect of aerobic exercise training on serum levels of high-density lipoprotein cholesterol: a meta-analysis.	Kodama S, Tanaka S, Saito K, Shu M, Sone Y, Onitake F, Suzuki E, Shimano H, Yamamoto S, Kondo K, Ohashi Y, Yamada N, Sone H.	内分泌代謝・糖尿病内科
Diabetes Res Clin Pract. 2007;77 Suppl 1:S23-9.	Cross-sectional association between BMI, glycemic control and energy intake in Japanese patients with type 2 diabetes. Analysis from the Japan Diabetes Complications Study.	Sone H, Yoshimura Y, Tanaka S, Iimuro S, Ohashi Y, Ito H, Seino H, Ishibashi S, Akanuma Y, Yamada N; Japan Diabetes Complications Study (JDCS) Group.	内分泌代謝・糖尿病内科
J Lipid Res. 2007 ; 48(7):1581-91.	SREBP-1-independent regulation of lipogenic gene expression in adipocytes.	Sekiya M, Yahagi N, Matsuzaka T, Takeuchi Y, Nakagawa Y, Takahashi H, Okazaki H, Iizuka Y, Ohashi K, Gotoda T, Ishibashi S, Nagai R, Yamazaki T, Kadowaki T, Yamada N, Osuga J, Shimano H.	内分泌代謝・糖尿病内科

小計　3件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Diabetes Care. 2007;30(5):1286-8.	Risk imparted by various parameters of smoking in Japanese men with type 2 diabetes on their development of microalbuminuria: analysis from the Tsukuba Kawai Diabetes Registry.	Saito K, Sone H, Kawai K, Tanaka S, Kodama S, Shu M, Suzuki E, Kondo K, Yamamoto S, Shimano H, Ohashi Y, Yamada N.	内分泌代謝・糖尿病内科
Biol Chem. 2007; 282(16):11687-95.	Protein kinase A suppresses sterol regulatory element-binding protein-1C expression via phosphorylation of liver X receptor in the liver.	Yamamoto T, Shimano H, Inoue N, Nakagawa Y, Matsuzaka T, Takahashi A, Yahagi N, Sone H, Suzuki H, Toyoshima H, Yamada N.	内分泌代謝・糖尿病内科
Ann.Rheum.Dis. 66:844-845, 2007	DNA microarray analysis of labial salivary glands of patients with Sjögren's syndrome	Wakamatsu E, Nakamura Y, Matsumoto I, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科
Arthritis Rheum. 56(7):2160-2169,2007.	Effects of infliximab therapy on gene expression levels of tumor necrosis factor alpha, tristetraprolin, T cell intracellular antigen 1, and Hu antigen R in patients with rheumatoid arthritis.	Sugihara M, Tsutsumi A, Suzuki E, Wakamatsu E, Suzuki T, Ogishima H, Hayashi T, Chino Y, Ishii W, Mamura M, Goto D, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科

小計　4件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Ann. Rheum. Dis. 67(1) 136-137, 2008	High prevalence of autoantibodies to muscarinic-3 acetylcholine receptor in patients with juvenile-onset Sjögren's syndrome	Nakamura Y, Wakamatsu E, Matsumoto I, Tomiita M, Kohno Y, Mori M, Yokota S, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科
Ann. Rheum. Dis. 67(4):571-572, 2008	Visfatin(pre-B cell colony-enhancing factor) gene expression in patients with rheumatoid arthritis	Matsui H, Tsutsumi A, Sugihara M, Suzuki T, Iwanami K, Kohno M, Goto D, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科
Arthritis Rheum. 58(3):754-763 ,2008	Crucial role of IL-6/IL-17 cytokine axis in the induction of arthritis by glucose-6-phosphate-isomerase.	Iwanami K, Matsumoto I, Watanabe Y, Mihara M, Ohsugi Y, Mamura M, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, Kishimoto T, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科

小計　3件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Cancer Genetics and Cytogenetics	Myelodysplastic syndrome accompanied by basophilia and eosinophilia with t(5;12)(q31;p13)	Yukitaka Katsura, Kazumi Suzukawa, Toru Nanmoku, Noriko Nemoto, Takayuki Machino, Naoshi Obara, Yasushi Okoshi, Harumi Yamamoto Mukai, Yuichi Hasegawa, Hiroshi Kojima, Yasushi Kawakami, Toshiro Nagasawa	血液内科
Bone Marrow Transplantation	Hepatosplenic αβT-cell lymphoma successfully treated with allogeneic bone marrow transplantation	T Machino, Y Okoshi, S Kaneko, N Obara, HY Mukai, K Suzukawa, Y Hasegawa, Y Yamashita, N Mori, H Kojima and T Nagasawa	血液内科
Int. J. Lab. Hem.	Shortened lifespan of paroxysmal nocturnal haemoglobiuria-affected RBC estimated from differences in ratios of CD59-negative populations between reticulocytes and whole RBC	H. Ninomiya, S. Sato, Y. Hasegawa, T. Nagasawa	血液内科

小計　3件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Genes Cheromosomes Cancer	Identification of a novel fusion gene MLL-MAML2 in secondary acute myelogenous leukemia and myelodysplastic syndrome with inv(11)(q21q23).	Nemoto N, Suzukawa K, Shimizu S, Shinagawa A, Takei N, Taki T, Hayashi Y, Kojima H, Kawakami Y, Nagasawa T	血液内科
J Thromb Haemasta	Continuous expression of Bcl-xL protein during megakaryopoiesis is post-translationally regulated by thrombopoietin-mediated Akt activation, which prevents the cleavage of Bcl-xL.	Kozuma Y, Kojima H, Yuki S, Suzuki H, Nagasawa T	血液内科
Pathol Int	Gastric T-cell lymphoma with cytotoxic phenotype	Sugita S, Iijima T, Furuya S, Kano J, Yanaka A, Ohta K, Kojima H, Noguchi M	血液内科
Pathol Int	Development-dependent expression of cyclin D3 in precursor T-cell lymphoblastic leukemia/lymphoma.	Sasaki E, Yatabe Y, Hashimoto M, Yamashita Y, Hasegawa Y, Kojima H, Nagasawa T, Mori N.	血液内科
Int J Hematol	L-arginine administration reverses anemia associated with renal disease	Tarumoto T, Imagawa S, Kobayashi M, Hirayama A, Ozawa K, Nagasawa T	血液内科
Cancer Immunol Immunother	An immunotherapy approach with dendritic cells genetically modified to express the tumor-associated antigen, HER2	Nabekura T, Nagasawa T, Nakauchi H, Onodera M.	血液内科

小計　6件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Br J Cancer	Tissue factor expression as a possible determinant of thromboembolism in ovarian cancer	Uno K, Homma S, Satoh T, Nakanishi K, Abe D, Matsumoto K, Oki A, Tsunoda H, Yamaguchi I, Nagasawa T, Yoshikawa H, Aonuma K.	血液内科
Circ J	Granulocyte colony-stimulating factor prevents progression of monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension in rats	Maruyama H, Watanabe S, Kimura T, Liang J, Nagasawa T, Onodera M, Aonuma K, Yamaguchi I.	血液内科
Mol Ther	Stable transgene expression in mice generated from retrovirally transduced embryonic stem cells	Hamanaka S, Nabekura T, Otsu M, Yoshida H, Nagata M, Usui J, Takahashi S, Nagasawa T, Nakauchi H, Onodera M.	血液内科
精神科治療学 23:95-102, 2008	気分障害患者に対する両側 rTMS の試み	高橋智之、川西洋一、根本清貴、堀孝文、谷向知、河合伸念、水上勝義、朝田隆	精神神経科
Depression Frontier 5:69-76, 2007	うつ病治療の実際「TMS 治療の新工夫」	川西洋一、高橋智之、根本清貴、朝田隆	精神神経科

小計　5件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
The International Journal of Neuropsychopharmacology 10: 281-283, 2007	A preliminary open-label study of serotonin 1A partial agonist tandospirone for behavioral and psychological symptoms associated with dementia.	Sato S, Mizukami K, Asada T	精神神経科
European Neuropsychopharmacol. 17:273-276, 2007	CLOCK gene T3111C polymorphism is associated with Japanese schizophrenics: A preliminary study.	Takao T, Tachikawa H, Kawanishi Y, Mizukami K, Asada T.	精神神経科
American Journal of Psychiatry 164:1440, 2007	Isolated adrenocorticotropic hormone deficiency presenting with delirium.	Nemoto K, Kawanishi Y, Suzuki H, Mizukami K, Asada T.	精神神経科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry 31:1177-81, 2007	Immunohistochemical and immunoblot analysis of Dopamine and cyclic AMP-regulated phosphoprotein, relative molecular mass 32,000 in the prefrontal cortex of subjects with schizophrenia and bipolar disorder.	Ishikawa M, Mizukami K, Iwakiri M, Asada T	精神神経科
Synapse 61: 357-366, 2007.	Alterations in GABA(A) receptor expression in neonatal ventral hippocampal lesioned rats: comparison of prepubertal and postpubertal periods.	Endo K, Hori T, Abe S, Asada T:	精神神経科
日本呼吸器学会雑誌 45:297-300, 2007	Lewy 小体型認知症における呼吸化学調節機能の検討	本間敏明，小川良子，菊池教大，水上勝義	精神神経科
精神科 11:38-42, 2007;	Alzheimer 病の予防 ―利根プロジェクトから―	朝田　隆	精神神経科
Cognition and Dementia 6: 80-83, 2007	先端認知症研究・医療施設の現在：Molecular Imaging Branch, National Institute of Mental Health	安野史彦	精神神経科
精神医学 49:452-461, 2007;	Alzheimer 病の疫学・予防研究	朝田　隆	精神神経科

小計　9件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Biol Psychiatry 61:1252-9, 2007	Role of ventral striatal dopamine D1 receptor in cigarette craving.	Yasuno F, Ota M, Ando K, Ando T, Maeda J, Ichimiya T, Takano A, Doronbekov TK, Fujimura Y, Nozaki S, Suhara T	精神神経科
BMC Dermatol. 2007Sep 28;7:5.	Single nucleotide polymorphism-based genome-wide linkage analysis in Japanese atopic dermatitis families.	Enomoto H, Otsuka F, Arinami T. et al.	皮膚科
Br J Dermatol. 2007 Nov;157(5):1053-6.	Epidermal cell necrosis with direct epidermal infiltration of Epstein-Barr virus (EBV)-encoded small nuclear RNA-positive T lymphocytes in a patient with EBV-associated haemophagocytic syndrome.	Kawachi Y, Otsuka F. et al.	皮膚科
Eur J Dermatol. 2007 Jul-Aug;17(4):345-6.	Cutaneous deep necrosis with dermatomyositis: correlation with interstitial pneumonia.	Kawachi Y, Otsuka F. et al.	皮膚科
Br J Dermatol. 2007 Nov;157(5):1060-1.	Concordant lymphoma of cutaneous anaplastic large cell lymphoma and systemic B-cell leukaemia.	Sato H, Otsuka F. et al.	皮膚科
Pediatr Surg Int 23:21-26, 2007	Regeneration of the esophagus using gastric acellular matrix: An experimental study in a rat model.	Urita Y. et al	小児(外)
J Pediatr Surg 42:1185-1189, 2007	Intrahepatic biliary cysts in children with biliary atresia who have had a Kasai operation.	Watanabe M, Hori T, et al	小児(外)
J Pediatr Surg 42: 2040-2045, 2007	dentification of side population cells (stem-like cell population) in pediatric solid tumor cell lines.	Komuro H, et al	小児(外)
日本小児外科学会雑誌 43：635－638, 2007	内視鏡と透視を併用し、摘出に工夫を要した大量胃内異物（単３電池）の症例。	今井章人、金子道夫他	小児(外)

小計　９件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
日本小児外科学会雑誌 43：58-61, 2007	臍帯結紮リングにより回腸閉塞をきたした超低出生体重児の一例。	渡邊美穂、小室広昭他	小　児（外）
小児がん　43：783-787, 2007	初回CITA施行時に致命的な腸炎を呈し救命しえなかった巨大肝芽腫stage IVの一例。	渡邊美穂、金子道夫他	小　児（外）
J Cancer Res Clin Oncol. 33(3):185-92, 2007	Relationship of DDX1 and NAG gene amplification /overexpression to the prognosis of patients with MYCN-amplified neuroblastoma.	Kaneko S, Kaneko M et al	小　児（外）
形成外科 50(4):443-449, 2007	自家軟骨移植による隆鼻術	遠藤隆志	形成外科
日本形成外科学会会誌 27(5):369-374, 2007	まれな顔面列の3例について	佐々木薫 富樫真二 畑寿太郎 遠藤隆志 中山凱夫	形成外科
日本形成外科学会会誌 27(9):617-623, 2007	Basket-weave法による口輪筋再建の有用性	富樫真二 中山凱夫 遠藤隆志 畑寿太郎 芳賀康史	形成外科
Biochem Biophys Res Commun . 2007 361(1):43-8	BACE1 modulates filopodia-like protrusions induced by sodium channel beta4 subunit.	Miyazaki H, Oyama F, Wong HK, Kaneko K, Sakurai T, Tamaoka A, Nukina N.	脳神経（内）
BMC Musculoskelet Disord . 2007 May 10;8:40.	Beta-synemin expression in cardiotoxin-injected rat skeletal muscle.	Mizuno Y, Guyon JR, Ishii A, Hoshino S, Ohkoshi N, Tamaoka A, Okamoto K, Kunkel LM.	脳神経（内）
J Biol Chem 2007 282(28):20309-18	Fibrillogenic nuclei composed of P301L mutant tau induce elongation of P301L tau, but not wild-type tau.	Aoyagi H, Hasegawa M, Tamaoka A.	脳神経（内）

小計　9件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
臨床神経　４７：１６９－１７２，２００７．	急性散在性脳脊髄炎に末梢神経障害を合併し、大量免疫グロブリン療法とステロイドパルスの併用療法が有効だった１例．	白岩伸子、吉澤利弘、大越教夫、玉岡　晃．	脳神経（内）
BMC Musculoskeletal Disorders	Beta-synemin expression in cardiotoxin-injected rat skeletal muscle.	石井亜紀子 玉岡晃 他	脳神経（内）
NeuroReport	Amyloid・E22・variant induces synaptic alteration in mouse hippocampal slices	詫間　浩	脳神経（内）
The proceedings of 8th International Congress of Neuroimmunology	Autoantibodies in stiff-person syndrome and other paraneoplastic neurological disorders	石井亜紀子 石井一弘 渡邊雅彦 玉岡晃 他	脳神経（内）
Neuroreport 11;18(9):937-40. 2007	Fibroblast growth factor 20 gene and Parkinson's disease in the Japanese population.	Satake W, Mizuta I, Suzuki S, Nakabayashi Y, Ito C, Watanabe M, Takeda A, Hasegawa K, Sakoda S, Yamamoto M, Hattori N, Murata M, Toda T.	脳神経（内）
Neurodegenerative Dis 2007; 4(suppl 1): 133, 2007	Sequential Imaging Analysis Using MIBG Scintigraphy Revealed Progressive Degeneration of Cardiac Sympathetic Nerve in Parkinson's Disease.	Watanabe M., Takeda T, Tamaoka A.	脳神経（内）
J. Radiat. Res.	Cell cycle checkpoint and apoptosis induction in glioblastoma cells and fibroblasts irradiated with carbon beam.	Tsuboi K	脳神経（外）
J Neuro-Oncology	Long-term outcome of patients with intracranial germinoma.	TsuboiK, Takano S	脳神経（外）

小計　８件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci	Clinical trial of autologous formalin-fixed tumor vaccine for glioblastoma multiforme patients.	Ishikawa E	脳神経（外）
Australian Radiology	Lactate quanitification by proton magnetic resonance spectroscopy using a clinical MRI machine: A basic study.	Isobe T	脳神経（外）
Neurol Sci	Imaging of Cerebrospinal Fluid Space and Movement of Hydrocephalus Mice using Near Infrared Fluorescence	Shibata Y	脳神経（外）
J Neuro-Oncology	Boron distribution in the normal rat brain after intravenous injection of boronophenylalanine-fructose.	Shibata Y	脳神経（外）
CI 研究	初発グリオーマの定量的 Proton-Magnetic Resonance Spectroscopy と免疫組織学的所見の比較検討	柴田　靖	脳神経（外）
CI 研究	近赤外線蛍光による水頭症モデルマウスの髄液腔、髄液循環の画像化	柴田　靖	脳神経（外）
機能的脳神経外科	頭頸部外傷後に生じた両下肢の振戦様異常運動に対して選択的脛骨神経縮小術を施行した一例	鮎澤　聡	脳神経（外）
Surg Neurol	Oculomotor palsy treated by microvascular decompression	Suzuki K	脳神経（外）
Cancer Letters	Boron neutron capture therapy for glioblastoma	Yamamoto T	脳神経（外）
Cancer Letters	Combined use of sodium borocaptate and buthionine sulfoximine in boron neutron capture therapy enhanced tissue boron uptake and delayed tumor growth in a rat subcutaneous tumor model	Yoshida F	脳神経（外）
Neurol Med Chir	Simple new method for making a rat carotid artery post-angioplasty stenosis model	Tsuruta W	脳神経（外）

小計 11 件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Childs Nerv Syst	Endoscopic observation of pathophysiology of ventricular diverticulum	Osuka S	脳神経（外）
Neurol Med Chir	Neurocysticercosis as solitary parenchymal lesion confirmed by mitochondrial deoxyribonucleic acid sequence analysis	Ishikawa E	脳神経（外）
Radiat Med 25(2);53-59, 2007	Explanation for the failure of neoadjuvant chemotherapy to improve outcomes after radiotherapy for locally advanced uterine cervical cancer from the standpoint of the tumor regression rate.	Ohara K, Tsunoda H, Tanaka YO, Onishi K, Nemoto K, Hashimoto T, Fukumitsu N, Hata M, Sugahara S, Tokuuye K, Yoshikawa H, Akine Y.	婦人・周産期
Magn Reson Med Sci. 6(1):7-13, 2007.	Magnetic resonance findings of primary uterine malignant lymphoma.	Goto N, Oishi-Tanaka Y, Tsunoda H, Yoshikawa H, Minami M.	婦人・周産期
Eur J Radiol. 32(6):647-653, 2007	MR findings of ovarian tumors with hormonal activity, with emphasis on tumors other than sex cord-stromal tumors.	Tanaka YO, Saida TS, Minami R, Yagi T, Tsunoda H, Yoshikawa H, Minami M.	婦人・周産期
J Clin Oncol. 25(19):2798-2803, 2007	Fertility-Sparing Treatment with Medroxyprogesterone Acetate for Endometrial Carcinoma and Atypical Hyperplasia in Young Women: A Multicenter Phase II Study.	Ushijima K, Yahata H, Yoshikawa H, Konishi I, Yasugi T, Saito T, Nakanishi T, Sasaki H, Saji F, Iwasaka T, Hatae M, Kodama S, Saito T, Terakawa N, Yaegashi N, Hiura M, Sakamoto A, Tsuda H, Fukunaga M, and Kamura T.	婦人・周産期

小計　6件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Okamoto Y, Tanaka YO, Tsunoda H, Yoshikawa H, Minami M.	Malignant or borderline mucinous cystic neoplasms have a larger number of loculi than mucinous cystadenoma: A retrospective study with MR.	J Magn Reson Imaging. 26(1):94-99, 2007.	婦人・周産期
Br J Cancer. 22;97(8):1053-1057. 2007.	High incidence of silent venous thromboembolism before treatment in ovarian cancer.	Satoh T, Oki A, Uno K, Sakurai M, Ochi H, Okada S, Minami R, Matsumoto K, Tanaka YO, Tsunoda H, Homma S, Yoshikawa H.	婦人・周産期
Jpn J Clin Oncol. 38(1):74-77. 2008.	Japan Clinical Oncology Group. Phase III trial of upfront debulking surgery versus neoadjuvant chemotherapy for stage III/IV ovarian, tubal and peritoneal cancers: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG0602.	Onda T, Matsumoto K, Shibata T, Sato A, Fukuda H, Konishi I, Kamura T, Yoshikawa H.	婦人・周産期
Blood, 110(1) : 151-160, 2007	Identification of functional endothelial progenitor cells suitable for the treatment of ischemic tissue using human umbilical cord blood.	Nagano M, Hamada H, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期
Audiology Japan	蝸電図検査	原　晃	耳鼻咽喉科
Genesto Cells	Reduced BMP4 abundancein GATA2 hypomorphic mutant mice resultinuropathies resombling human CAKUT	Tomofumi Hoshino	耳鼻咽喉科
Audiology Japan	職場騒音と騒音性難聴の実態について 特に従業員数50人未満の小規模事業所における騒音の現状と難聴の実態調査	和田哲郎	耳鼻咽喉科
Neuroscience	Role of inhibitor of apoptosis protein in gentamicin-induced cochlear hair cell damage	Keiji Tabuchi	耳鼻咽喉科
JOHNS	ｱﾝﾁｴｲｼﾞﾝｸﾞと耳鼻咽喉科加齢による変化とそのｱﾝﾁｴｲｼﾞﾝｸﾞ－聴覚の生理学的変化－	原　晃	耳鼻咽喉科
ENTONI	急性低音障害型感音難聴－その診断と治療	原　晃	耳鼻咽喉科

小計 10件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
耳鼻咽喉科臨床	頸部材創例	青柳安典	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望	内耳虚血再灌流障害の病態解析	田渕経司	耳鼻咽喉科
Otorogy Neurotology	Protective effect of methylprednisolone on the chicken' s cochlea(basilar papilla) daring and after exposure to wideband noise in reply	Keiji Tabuchi	耳鼻咽喉科
Neuroscience letters	The effect of a GABA agonist muscimol on acoustic injury of the mouse cochlea	Hidekazu Murashita	耳鼻咽喉科
ANL	Synchronous unilateral parotid gland neoplasms of three different histological types	Shuho Tanaka	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床	夫婦で発症した扁桃癌例	上前泊　功	耳鼻咽喉科
Tohoku J	The importance of postoperative radiotherapy against polymorphous Low-Grade adenocarcinoma of the parotid Gland:Case reportand review of the liferature	Isao Uemaetomari	耳鼻咽喉科
ANL	Basaloid squamous call carcinoma of the maxillary sinus:a report of two cases	Keiko Oikawa	耳鼻咽喉科
Neursicence letter	The effect of the glucocorticoid receptor antagonist RU486 and phosphelipase Azinhibitor quinacrine on acoustic injury of the mouse cochlea	Yuki Hirose	耳鼻咽喉科
J Anesth, 21, 348-353	Unilateral adrenalectomy attenuates hemorrhagic shock-induced analgesia in rats	Fukuda T	麻酔科
麻酔 56, 949-952	帝王切開後原発性肺高血圧症悪化により死亡した1症例	清水　雄	麻酔科
2007, ICU と CCU 31,509-516	ICUにおける循環管理と長期予後	水谷太郎	麻酔科

小計 12件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
J Exp Clin Cancer Res 26:215-220, 2007	Loss of cytokeratin in squamous cell carcinoma of the tongue is a possible sign for local recurrence.	Yanagawa T	歯・口腔外科
Cell 131:1149-1163, 2007	Homeostatic levels of p62 control cytoplasmic inclusion body formation in autophagy-deficient mice.	Komatsu M	歯・口腔外科
Cancer Therapy 6:187-192, 2008	The association of hematologic changes and histological responses to preoperative chemoradiotherapy in oral cancer patients.	Yamagata K	歯・口腔外科
日有病歯誌 16:61-67, 2007	大学附属病院歯科口腔外科における院内他科からの依頼患者の分析	後藤麻希子	歯・口腔外科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy interference with implanted cardiac pacemakers.	Oshiro Y, Sugahara S, Noma M, et al.	放射線腫瘍科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma adjacent to the porta hepatis.	Mizumoto M, Tokuuye K, Sugahara S, et al.	放射線腫瘍科
Radiat Med	Classical tandem-source dwelling covering the entire uterus: essential in modern intracavitary radiotherapy for cervical cancer?	Ohara K, Nemoto K, Tsunoda H, et al.	放射線腫瘍科
Jpn J Clin Oncol	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma with inferior vena cava tumor thrombus: report of three cases.	Mizumoto M, Tokuuye K, Sugahara S, et al.	放射線腫瘍科
Strahlenther Onkol	Proton irradiation in a single fraction for hepatocellular carcinoma patients with uncontrollable ascites : Technical considerations and results.	Hata M, Tokuuye K, Sugahara S, et al.	放射線腫瘍科
J Radiat Res	Cell cycle checkpoint and apoptosis induction in glioblastoma cells and fibroblasts irradiated with carbon beam	Tsuboi K, Moritake T, Tsuchida Y, et al.	放射線腫瘍科

小計 10件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Radiat Med	Explanation for the failure of neoadjuvant chemotherapy to improve outcomes after radiotherapy for locally advanced uterine cervical cancer from the standpoint of the tumor regression rate	Ohara K, Tsunoda H, Tanaka Y.O, et al.	放射線腫瘍科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for aged patients with hepatocellular carcinoma.	Hata M, Tokuuye K, Sugahara S, et al.	放射線腫瘍科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Hypofractionated high-dose proton beam therapy for Stage I non-small-cell lung cancer: Preliminary results of a phase I/II clinical study.	Hata M, Tokuuye K, Kagei K, Sugahara S, et al.	放射線腫瘍科
J Neuro-Oncol	Long-term outcome of patients with intracranial germinoma.	Osuka S, Tsuboi K, Takano S, et al.	放射線腫瘍科
Cancer Sci 98:50-57, 2007	OCIA domain containing 2 is highly expressed in advanced bronchioloalveolar carcinoma and associated with better prognosis.	Ishiyama T, Noguchi M, et al.	病理学的診断
J Thorac Oncol. 2:796-801, 2007	Neuronatin expression and its clinicopathological significance in pulmonary non-small cell carcinoma.	Uchihara T, Noguchi M, et al.	病理学的診断
Lung Cancer 56:193-199, 2007	Comparison of pathologic findings of baseline and annual repeat cancers diagnosed on CT screening.	Carter D, Noguchi M, et al.	病理学的診断
Pathol Int 57:108-114, 2007	Gastric T-cell lymphoma with cytotoxic phenotype.	Sugita S, Noguchi M, et al.	病理学的診断
Lab Invest 88:132-143, 2008	Differentially expressed genes in a porcine adult hepatic stem-like cell line and their expression in developing and regenerating liver.	Kano J, Noguchi M, et al.	病理学的診断
J Thorac Oncol. 3:270-276,2008	Pathologic radioresponse of preoperatively irradiated invasive thymomas.	Onuki T, Noguchi M, et al.	病理学的診断

小計　10件

雑　誌　名	題　　名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci 98:50-57, 2007	OCIA domain containing 2 is highly expressed in advanced bronchioloalveolar carcinoma and associated with better prognosis.	Ishiyama T, Noguchi M, et al.	病理学的診断

小計　1件

計　218件

（注）1　当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2　「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

（様式第１２）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長　山　田　信　博
管理担当者氏名	医療情報部長　五十嵐　徹　也 薬剤部長　幸　田　幸　直 病院総務部総務課長　原　　忠　篤、医事課長　廣　瀬　和　幸

			保管場所	分類方法
診察に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経経過の要約及び入院診療計画書			医療情報部 薬剤部 総務課	カルテは一患者一ファイルにより医療情報部で管理している。 エックス線等写真も医療情報部で一括して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従事者数を明らかにする帳簿		総務課	
	高度の医療の提供の実績		医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績		医事課	
	高度の医療の研修の実績		総務課	
	閲覧実績		総務課、医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績		医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		医事課 薬剤部	
	掲げる第9条の2の3及び第1条の11各号に規則体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	臨床医療管理部	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室	
		医療に係る安全管理を行なう部門の設置状況	臨床医療管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療福祉支援ｾﾝﾀｰ	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	臨床医療管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	ﾘｽｸﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ委員会	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	臨床医療管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	臨床医療管理部	

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理室	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 臨床医療管理部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	物流センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	物流センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	物流センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	物流センター	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

（様式第１３）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長　山田　信博
閲覧担当者氏名	総務課長　原　忠篤、医事課長　廣瀬　和幸
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部 総務課、医事課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	3件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	1件
	地方公共団体	延	2件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	74.4 %	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日

算出根拠	A：紹介患者の数	13,233人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	4,769人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,187人
	D：初診の患者の数	21,004人

（注）1　「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2　A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

（様式第１３－２）

規則第９条の２３及び第１の１１各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊒（2名）・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊒（1名）・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊒ ・ 無
・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（2）名 ・ 活動の主な内容： 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 医事紛争支援 医療ｻｰﾋﾞｽの向上のための企画及び教育	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊒ ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊒ ・ 無
・ 指針の主な内容： 組織として事故防止に取組む。 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 事故防止のための教育研修ｼｽﾃﾑを整え、教育研修を年２回以上行う。 医療事故防止ﾏﾆｭｱﾙを必要に応じ閲覧に供する。	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
・ 活動の主な内容： 臨床医療管理部から報告を受け、ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄﾚﾎﾟｰﾄ、ｵｶﾚﾝｽﾚﾎﾟｰﾄ等の分析、改善案等を協議する。 医療事故の防止のための啓発を図る。 医療事故が発生した場合の適切な対策を協議する。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2回
・ 研修の主な内容： 第１期の研修ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（5回開催） 「医療事故防止ﾏﾆｭｱﾙ改訂版の説明及び社会人としてのﾏﾅｰ」 第２期の研修ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（5回開催） 「医療事故防止に関する基本的事項、医療事故防止に関する意識調査、MRSA感染の現状と対策」	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ ㊒ ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 「医療事故防止ﾏﾆｭｱﾙ（改訂版）」を作成し、全職員に配布した。 精神病棟における認知症患者の無断離棟防止対策（入口にｾﾝｻｰ、GPSを設置した。）	

院内感染対策のための体制の確保に係る調書

① 院内感染対策のための指針の策定状況	㊒ ・ 無
・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策委員会及び感染管理室の設置 院内感染発生時の対応 職員研修	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 15 回
・ 活動の主な内容： 院内感染対策指針及びマニュアルの審議 院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 改善策の立案及び全職員への周知	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 針刺し防止の取り組み ＭＲＳＡ感染の現状と課題	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備： （㊒ ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 院内感染対策改善策を感染対策委員会で審議・決定後、各診療科、各単位の感染担当者へ連絡、担当者から各ｽﾀｯﾌへ連絡 感染管理室から、院内感染対策改善策を各診療科、各単位の感染担当者へ連絡、担当者から各ｽﾀｯﾌへ連絡	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	㊒ ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
・ 研修の主な内容： 医療に係る安全管理のための職員研修 第2期研修ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ「医療事故防止に関する意識調査」において、資料「医薬品の安全使用のために一分割・粉砕してはけない錠剤をご存知ですか」を用いて説明を行う	
② 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 （ ㊒ ・ 無 ） ・ 業務の主な内容： 院内巡視にて実施状況を確認	
③ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ ㊒ ・ 無 ） ・ その他の改善にための方策の主な内容： 印刷物の配布（「薬剤部からのお知らせ」等） 院内ﾒｰﾙによる情報配信	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	㊒ ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
・ 研修の主な内容： 血液浄化装置の安全使用 2回（血液浄化療法部スタッフ対象） 人工呼吸器の安全使用 4回（集中治療部スタッフ対象）	
② 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の作成 （ ㊒ ・ 無 ） ・ 保守点検の主な内容： 各機器ごとに保守点検台帳を作り、定期点検を実施している。	
③ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ ㊒ ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 定期的に関係部署のスタッフに医療機器安全使用情報を配布している。	